

第3学年1組 保健体育（保健分野）学習指導案

平成21年11月11日（水）
島根大学教育学部附属中学校
指導者 柏木 裕至

1 単元名 健康な生活と病気の予防 「医薬品と健康」

2 単元の目標

- (1) 仲間と協力して資料を集めたり、意見交換したりしながら課題を見つけ、意欲的に学習することができる。
- (2) 自分の知識や経験、資料、仲間の意見や考えをもとにして、科学的に考え、選択すべき行動を判断することができる。
- (3) 健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、科学的に理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身につけることができる。

3 指導にあたって

- 今日の日本では、地域や職場の健康管理が行き届き、医療制度や介護制度の確実な進歩に伴って、平均寿命が伸び高齢化社会となった。しかしながら、その一方で、日常健康に注意を払うことなく、健康管理を人任せにしている代償として徐々に発病していく、糖尿病や高脂血症、高血圧などの生活習慣病の増加は、大きな社会問題にもなっている。

本単元では、人間の健康は、主体と環境が関わり合って成り立つものであるということを理解させるとともに、健康を保持増進し疾病を予防するためには、それぞれの要因を知り、その要因に対する適切な対策を理解できるようにする。また、自分自身の健康について立ち止まって振り返る姿勢を身につけさせ、適切な意志決定や行動選択ができるように、日常生活の中で課題を発見し、実践、解決していく態度を育てなければならないと考える。

- 本学級は男子19名、女子20名、合計39名の学級である。アンケート結果より、保健学習については約半数（男子10名、女子9名）の生徒が「好き」と答えている。しかし、「医薬品が効く仕組みを知っていますか」という質問に対して、「はい」と答えた生徒が7名（男子4名、女子3名）、「一般用医薬品と医療用医薬品の違いを説明できますか」という質問に対して「はい」と答えた生徒が5名（男子1名、女子4名）と、医薬品に対する認識は低い。

リーダー性の高い生徒もおり、班学習の際は活発な意見交換がなされる。しかしその一方で、自分の健康に対して無関心な生徒や学習に消極的な生徒もおり、授業への取り組みに差が見られる。これらの生徒が、班で仲間とともに学習をしていくことで、自分自身の生活を振り返り、課題を発見し、解決していこうとする機会となればと考える。

- これまで本校体育科は「運動の心地よさを味わわせ追及と習得の力を伸ばす体育学習～課題解決力を伸ばす保健体育学習～」を研究テーマとし、実践を進めてきた。生徒が自分自身を見つめ→自分の課題を発見し→いくつかの方法から選択し→自分に合う方法を見つける。このようなプロセスを踏みながら保健学習を通して、課題解決力の育成を目指したいと考える。

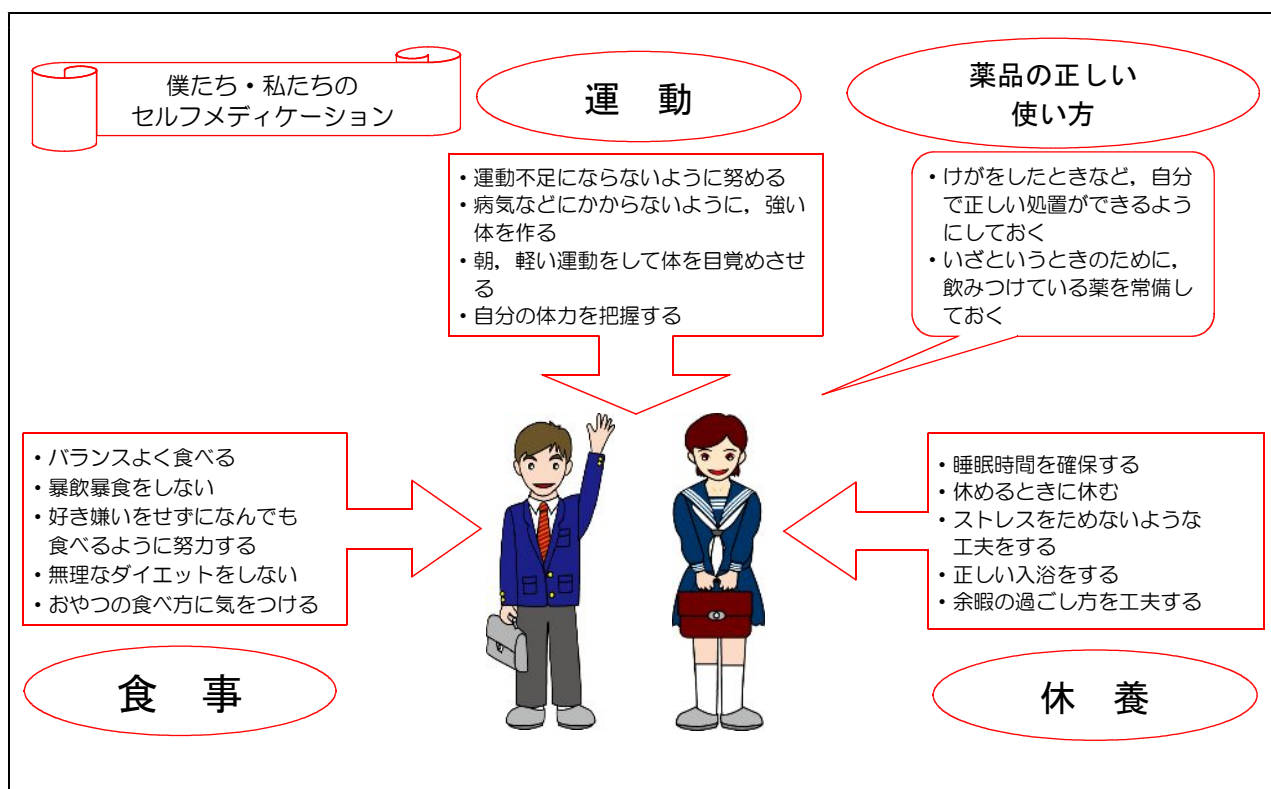
本単元ではこれまで、「セルフメディケーション」という言葉をキーワードに学習を進めてき

た。本来、WHO（世界保健機関）では、セルフメディケーションを「自分自身の健康に責任を持ち軽度な身体の不調は自分で手当をすること」と定義しており、軽い風邪や熱が出たときに市販の薬を使って早めに治すこととされてきた。しかし、最近では更に広い意味を含んで捉えられるようになってきている。毎日の食事が不規則なので、不足している栄養素をサプリメントで補うとか、ハーブやアロマセラピーで心身を癒す、休養のために積極的に睡眠をとるなども、広い意味でのセルフメディケーションの範疇に入ると考えられるようになった。

そこで、自分自身の健康を保持増進していくための「僕たち、私たちのセルフメディケーション」を考えていくことにした。まず、自分自身が現在行っていることや実践可能なセルフメディケーションについて考え、意見を出し合った。そこで出された多くの意見を集約してみると、「運動」「食事」「休養」「医薬品の正しい使い方」の4つにまとめることができた（図1）。4つの項目のうち、「運動」「食事」「休養」の3つについて、更に焦点を絞ったテーマ学習を行い、発表会を実施した。そして、セルフメディケーションの実践が、自らの健康に大きな影響を与え、生活習慣病の予防につながることに学習してきた。

本時は、4つ目の項目である「医薬品の正しい使い方」について学習する。事前アンケートより、生徒の医薬品に対する認識の違いと、正しい知識、使用方法などについてスライドを使いながら共通理解を図りたい。そして、医薬品の「使用上の注意」に書かれている内容について、グループワークを行い、活発な意見交換ができるようにしていきたい。また、今年6月の薬事法の改正に伴う医薬品の分類や購入の仕方などについて、学校薬剤師へのインタビュー映像をもとに正しい知識を習得させたい。

こうした学習を通して、生徒が教師や仲間の考えを聞き、自分の考えをまとめ整理していく中で課題を解決し、適切な行動選択につなげられるような力をつけていきたい



【図1 僕たち・私たちのセルフメディケーション】

4 評価規準

	ア健康・安全への関心・意欲・態度	イ健康・安全についての思考・判断	ウ健康・安全についての知識・理解
単元の評価規準	健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、関心を持ち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したりしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしている。	健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、自分の知識や経験、資料、仲間の意見や考えなどを元にして、科学的に考え、選択すべき行動を判断している。	健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、科学的に理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。
ご内容の評価規準	健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、関心を持ち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したりしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしている。	健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、自分の知識や経験、資料、仲間の意見や考えなどを元にして、科学的に考え、選択すべき行動を判断している。	健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、科学的に理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。
学習活動における具体的な評価規準	<p>①健康について関心を持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>②健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、資料を見たり、自分の日常生活を振り返りながら課題を発見しようとしている。</p> <p>③健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、教師や仲間とともに活動したり、教科書などの資料を読んだりして、課題について調べようとしている。</p> <p>④健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、教科書などの資料を元に、自分の考えや意見をまとめようとしている。</p>	<p>①教科書や資料、仲間の話を通して、自らの健康について考えている。</p> <p>②健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、自分の日常生活等を振り返り、問題点を見つけている。</p> <p>③健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、資料を元に、予想したり、整理したりしている。</p> <p>④健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、学習したことを自分自身に当てはめ、生活を振り返っている。</p>	<p>①健康は主体と環境から成り立ち、疾病はそれらの要因がかかわりあって起こることについて、具体例を挙げながら説明している。</p> <p>②健康の保持増進には、生活習慣が深くかかわっていること、それが主な要因となって起こる疾病やその予防の仕方について、具体例を挙げて説明している。</p> <p>③医薬品の役割とその正しい使い方について、具体例を挙げて説明している。</p> <p>④喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響と乱用してはいけないことについて、具体を挙げて説明している。</p> <p>⑤感染症の要因とその予防の方法について、具体例を挙げて説明している。</p> <p>⑥個人の健康と集団の健康は密接な関係があること、健康を保持増進するためには、保健・医療機関の有効な利用が必要であることについて、具体例を挙げて説明している。</p>

5 指導と評価の計画

時	学習の内容	評価			評価方法等
		関心・意欲 ・態度	思考 判断	知識 理解	
1	健康の成り立ち	①	①	①	教師の観察 学習ノート
2	運動、食生活、休養と健康 ・グループワーク	②	②		教師の観察 学習ノート
3		③	③	②	ワークシート
4		③	③		期末テスト
5		④	④	②	
6	・発表会	④	④	②	
7	生活習慣病とその予防	④	④	②	教師の観察 ノート、ワークシート
8		④	④		
9	喫煙と健康	③	③		教師の観察 ノート、ワークシート
10	飲酒と健康	③	③		教師の観察 ノート、ワークシート
11	医薬品と健康 ・グループワーク	③	④	③	教師の観察 ノート、ワークシート
本時		③	④		
12	薬物乱用と健康	④	③	④	教師の観察 ノート、ワークシート
13	喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ ・グループワーク	④	③	④	期末テスト
14		④	③		
15	感染症とその予防	④	③	⑤	教師の観察 ノート、ワークシート
16		④	③		
17	性感染症の予防/エイズ	④	③	⑤	教師の観察 ノート、ワークシート
18		④	③		
19	ともに健康に生きる社会	④	④	⑥	教師の観察 ノート、ワークシート
20		④	④		

6 本時の学習（11時間目/20時間）

（1）目標

- ・グループ内で協力して学習し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。
- ・他のグループの発表を聞きながら、自分自身の医薬品の使い方について振り返りながらまとめることができる。
- ・医薬品の役割や正しい使用法などについて理解することができる。

（2）展開

学 習 活 動	指導上の留意点	評価等
<p>1 これまでの学習を振り返る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">振り返ろう！</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図「僕たち・私たちのセルフメディケーション」 ・ 「知っているようで知らない薬のこと」 <p>2 医薬品について知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">医薬品について考えよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ OTC 医薬品(一般医薬品)と医療医薬品 ・ スイッチ ・ 医薬品の分類(1類～3類) <p>3 グループワーク</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">調べよう！「使用上の注意」</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「第1類医薬品」・・・1, 2, 3, 4班 ・ 「第2類医薬品」・・・5, 6班 ・ 「第3類医薬品」・・・7, 8班 ・ 発表班以外はメモを取りながら聞く <p>4 学校薬剤師さんからのメッセージ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">正しい使い方を理解しよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品の購入の仕方, 正しい使い方 ・ 医薬品の副作用 ・ 医薬品を使用する際の注意点 など <p>5 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">感想を書こう！</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに感想を書く ・ 友達の感想を聞く ・ 次時の学習内容を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ○スライドに、アンケート結果のまとめの図「僕たち・私たちのセルフメディケーション」や「知っているようで知らない薬のこと」を示しながらこれまでの学習を振り返らせるとともに、本時の学習への見通しを持たせる。 ○医薬品の TVCM 映像※を流し、その中に出てくる用語を説明する。 ○スライドにわかりやすくまとめて説明する。 ○日頃自分がよく使う医薬品をイメージしながら聞かせ、どのように分類されているかを理解させる。 ○医薬品の添付文書「使用上の注意」に記載されている事柄について、医薬品の分類別に、グループ内で意見交換しながら調べ、発表をする。 ○グループごとにホワイトボードにまとめさせ、掲示板に貼らせる。 ○他の班の発表をワークシートにまとめながら聞かせ、自分自身の医薬品の使い方を振り返らせる。 ○学校薬剤師の立場から、正しい医薬品の使い方や注意点について説明した映像を流す。 ○ワークシートにメモをとりながら聞くように指示する。 ○自分自身の医薬品の使い方を振り返り、比較しながら感想を書かせる。 ○何人かに指名をし、その感想をみんなで共有できるようにする。 ○次時の学習の見通しを持たせる。 	<p>関意態③</p> <p>思判④</p> <p>知理③</p>

※ TVCM 映像・・・『ボルタレン AC』ノバルティスファーマ株式会社

(3) 授業研究の視点

- ・ グループワークや学校薬剤師のインタビュー映像は課題解決学習に効果的であったか。